デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）令和４年度実績

事業名	**世界ラリー選手権（WRC）をいかした三河・東濃地域の山村及び産業振興に向けたまちづくり事業**				担当課	ラリーまちづくり推進課	
事業の概要・目的	日本で初めて地方自治体が主体となって世界ラリー選手権（以下「WRC」）を開催し、愛知県豊田市及び岐阜県恵那市を中心とする三河・東濃地域で官民が連携して「ラリーをいかしたまちづくり」を進め、山村振興と産業振興を図る。						
交付金を充当する事業経費	1　WRC 継続開催による地域活性化事業 ・WRC 競技費　9,722,000 円 ・プロモーション費等　16,287,000 円 ・WRC 開催に向けた環境整備費等　8,875,000 円 2　WRC 開催とそのインパクトを生かした地域活性化事業 ・都市部及び山村部での賑わい事業費等　37,125,000 円 ・開催国でのプロモーション事業費等　3,071,000 円 3　クルマを安全・安心に楽しめ、環境問題の解決に寄与する事業 ・TGR ラリーチャレンジ開催支援　5,000,000 円 ・官民連携によるクルマを楽しめるまちづくりの推進　887,000 円 ・WOMEN‘ s RALLY 開催支援　0 円（恵那市事業） ・クルマにやさしいまちづくり（オフ会支援）　0 円（恵那市事業） ハード事業 ・機材購入費　17,998,000 円 ・旭高原元気村バンガローエリア改修費　30,000,000 円						
総事業費	257,930,000 円	交付決定額	128,965,000 円	交付金充当経費	128,965,000 円	不用額	0 円
事業始期	令和４年４月			事業終期	令和５年３月		

ＫＰＩ①	豊田市及び恵那市における主な観光施設やイベントの年間観光入込客数	基準値	14,710,000 人	Ｒ４目標値	15,030,000 人	実績値	11,036,837 人	達成状況	②（約 73%）
ＫＰＩ②	ＷＲＣやモータースポーツに関連するイベントの集客数（のべ人数）	基準値	―	Ｒ４目標値	260,000 人	実績値	137,456 人	達成状況	③（約 53%）

ＫＰＩ③	WRC に関連するイベント開催における豊田市及び恵那市への経済波及効果	基準値	―	Ｒ４目標値	13 億円	実績値	20 億円	達成状況	①(約 153%)
ＫＰＩ④	関連企業の自動車販売台数（登録車）	基準値	145 万台	Ｒ４目標値	155 万台	実績値	123 万台	達成状況	②（約 79%）

※実績値は、令和４年度交付金実績報告時のもので推定値含む。

※達成状況：　①達成⇒　達成状況１００％以上　②概ね達成⇒達成状況７０％以上　③十分とは言えない⇒達成状況５０％以上　④未達成⇒達成状況５０％未満

取組実績	検証・評価	令和５年度の取組の方向性	
（概要・具体的な数値・回数も合わせて記載） ・新型コロナウイルス感染症により２年連続中止となった WRC が開催されたほか、豊田しもやまラリーや TGR ラリーチャレンジ・シロキヤラリーなど既存のラリー競技も開催された。 ・10～11 月の期間をラリーオータムと位置づけ、地域と連携した PR や参加型イベントを実施。	・新型コロナウイルス感染の影響を受けたものの、確実な各大会運営の支援や関連事業を実施し、WRC 継続に向けた機運醸成を図った。	方向性	①拡大して実施
		・2023 年 WRC 大会に向け、PR や各種事業を実施する。 ・2024 年以降の継続開催に向けた開催準備を行う。 ・国内外へのプロモーションの実施	

※方向性：　①拡大して実施（事業内容・規模の拡大）　②改善して実施（事業内容改善、効率化、効果向上）　③継続実施（同規模実施）　④縮小　⑤完了

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）令和４年度実績

事業名	地域内経済循環創出に向けた SDGs「認証」制度の構築及び市民行動の促進			担当課	未来都市推進課		
事業の概要・目的	豊田市 SDGs 認証制度の構築・運用、SDG s 担い手育成事業（ローカル SDGs に関する理解促進ツールの制作及びそれを活用するファシリテーターの養成）、SDG s 情報発信事業（デジタルの活用等による地域・市民への訴求と活動の見える化）を行うことによって、地域事業者及び市民の SDG s 達成加速化、地域内経済の好循環創出及び持続可能な地域づくりをはかることを目的とする。						
交付金を充当する事業経費	１　認証制度、設計（プロポーザル）費用　８，１０８，８３１円 ２　理解促進ツール制作ワーキング、制作費用　１，９１８，４００円						
総事業費	12,000,000 円	交付決定額	6,000,000 円	交付金充当経費	5,013,615 円	不用額	986,385 円
事業始期	令和４年４月			事業終期	令和５年３月		

ＫＰＩ①	「経営力高度化事業補助金」の交付件数	基準値	0 件	R４目標値	設定なし	実績値	114 件	達成状況	－
ＫＰＩ②	とよた SDG s パートナー「認証」団体数	基準値	0 件	R４目標値	設定なし	実績値	0 件	達成状況	－
ＫＰＩ③	SDG s 関連イベント等参加者数（とよたエコフルタウン開催イベント含む）　＋ SDG s 担い手育成講座受講者数	基準値	3,000 人	R４目標値	3,000 人	実績値	3,381 人	達成状況	①達成
ＫＰＩ④	パートナー連携　共働事業件数	基準値	10 件	R４目標値	10 件	実績値	20 件	達成状況	①達成

※達成状況：　①達成⇒　達成状況１００％以上　②概ね達成⇒達成状況７０％以上　③十分とは言えない⇒達成状況５０％以上　④未達成⇒達成状況５０％未満

取組実績	検証・評価	令和５年度の取組の方向性	
地元金融機関や商工会議所を巻き込んでの豊田市 SDGs 認証制度の構築、SDGs 理解促進ツールの市民共働での制作を行ったほか、市民・企業向けに SDGs 関連イベントを複数実施した。	認証制度の運用は令和５年度からであるため、ＫＰＩ①、②の評価検証はこれからであるものの、コロナの影響が残る中でも市民・企業の SDGs への関心を高まっており、KPI③を達成することができた。また、とよた SDGs パートナーの活発な活動によって KPI④は目標値を大きく超えた。	方向性	①　拡大して実施（事業内容・規模の拡大）

※方向性：　①拡大して実施（事業内容・規模の拡大）　②改善して実施（事業内容改善、効率化、効果向上）　③継続実施（同規模実施）　④縮小　⑤完了

まち・ひと・しごと創生«交付金事業»　実績評価シート【デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）】令和４年度実績

事業名	映画を活かしたまちづくり事業				担当課		商業観光課
事業の概要・目的	（１）とよたアニメシネマフェスティバル【アニメづくりはものづくりであることの体感を通したものづくり文化醸成】 （２）まちなか連携事業【アニメとのタイアップによるまちづくり事業とシティプロモーション】 （３）映画（ものづくり）文化の醸成事業 （４）映画作品と連携したまちなか回遊事業						
交付金を充当する事業経費	１　映画作品と連携したまちなか回遊事業 ・シネコン連携企画　９９０，０００円 ・神在月学校上映企画　２，５００，０００円 ２　映画文化の醸成事業 ・まちなか映画上映会　１，０００，０００円						
総事業費	3,000,000 円	交付決定額	1,500,000 円	交付金充当経費	1,245,000 円	不用額	255,000 円
事業始期	令和４年５月			事業終期	令和５年３月		

ＫＰＩ①	中心市街地の歩行者通行量	基準値	47,164 人／日	Ｒ４目標値	53,100 人／日	実績値	62,519 人／日	達成状況	①
ＫＰＩ②	文化芸術に興味のある児童生徒の割合（小学生）	基準値	54.6%	Ｒ４目標値	60.5%	実績値	－	達成状況	－
ＫＰＩ③	まちなか周遊事業の参加者	基準値	－	Ｒ４目標値	3,000 人	実績値	1,048 人	達成状況	④
ＫＰＩ④	こども映画教室の参加者	基準値	－	Ｒ４目標値	20 人	実績値	0 人	達成状況	④

※達成状況：　①達成⇒　達成状況１００％以上　②概ね達成⇒達成状況７０％以上　③十分とは言えない⇒達成状況５０％以上　④未達成⇒達成状況５０％未満

<table>
<tr><th>取組実績</th><th>検証・評価</th><th colspan="2">令和５年度の取組の方向性</th></tr>
<tr><td rowspan="2">（概要・具体的な数値・回数も合わせて記載）
１　映画作品と連携したまちなか回遊事業
・シネコン連携企画
映画作品と連携し、まちなかの主要施設を巡るクイズラリー、パネル展示、キャラクターの握手会を実施し、まちなか回遊を図った。（期間 4/15～5/8、参加合計 1,048 人）
・神在月学校上映企画
DVD を小中学校に無償貸出しし、映画文化の醸成を図った。（上映 11 校、視聴人数 2,065 人）
２　映画文化の醸成事業
・過去の名作等の映画作品を、公共施設で上映（上映日：9/18、11/10、1/22、3/12　会場：豊田市中央図書館、豊田市民文化会館　視聴者数：203 人）</td><td rowspan="2">新型コロナウイルスの感染拡大の収束の兆しが未だ見えない中で、屋内施設や単発的なイベントは感染状況によっては集客が難しいことから、学校教育と連携した事業へと変更した。具体的には、DVD（映画『神在月のこども』等の映像を収録）を申込みいただいた小中学校に無償貸出。原作小説に小原地区が登場し、主題歌には、豊田市の小学生の手拍子やコーラスも含まれた豊田市に馴染みのある作品を活用した。モノづくりへの関心を高めるとともに、地域・歴史の学びを深め、WE LOVE とよたの醸成を図った。映画を活かしたまちづくり事業によるシネコンの連携により、まちの回遊が生まれたことは評価できる。</td><td>方向性</td><td>③</td></tr>
<tr><td colspan="2">映画文化の醸成事業について、新たに開館する（仮）豊田市博物館や、新型コロナウイルス感染症の影響により実施していなかったイオンシネマを会場として追加するため、事業費を増額して実施する。</td></tr>
</table>

※方向性：　①拡大して実施（事業内容・規模の拡大）　②改善して実施（事業内容改善、効率化、効果向上）　③継続実施（同規模実施）　④縮小　⑤完了

まち・ひと・しごと創生«交付金事業»　実績評価シート【デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）】令和４年度実績

事業名	足助地域核エリア再生事業				担当課	足助支所	
事業の概要・目的	重要伝統的建造物群保存地区の歴史的な建物をはじめ、空き家・空き店舗などの既存ストックを活用し、地域資源等を生かした事業の創出を実践しながら、エリア内の事業者発掘とエリア外からの事業者参入を促すとともに、実際に事業を具現化することで、地域住民や物件所有者などのエリア再生に対する理解や意欲の醸成を図る。また、既存ストックの活用や事業者と物件所有者あるいは地域との調整、事業化支援などの仕組みの構築や体制づくりを行い、本事業終了後に地域が自立して動ける状態にする。さらには、本事業で得られた知見やノウハウ、構築された仕組みや体制、育成された人材を他の山村地域に展開していく。						
交付金を充当する事業経費	１　事業創出ワークショップ事業 ・事業創出ワークショップの開催費用（委託）　４，０９４，１１６円 ２　事業化に向けた伴走支援事業 ・事業の専門家の招へい費用（委託）　７７９，７１５円 ３　エリア再生総合プロデュース事業 ・エリア再生の専門家の招へい費用（委託）　２，３３９，１４４円						
総事業費	15,400,000 円	交付決定額	7,700,000 円	交付金充当経費	7,212,975 円	不用額	487,025 円
事業始期	令和４年４月			事業終期	令和５年３月		

ＫＰＩ①	足助地域核エリアにおける地域資源等を生かした新規事業の件数	基準値	０件	R４目標値	３件	実績値	３件	達成状況	達成
ＫＰＩ②	足助地域核エリアにおける地域資源等を生かした新規事業の担い手の数	基準値	０人	R４目標値	１０人	実績値	１３人	達成状況	達成

※達成状況：　①達成⇒　達成状況１００％以上　②概ね達成⇒達成状況７０％以上　③十分とは言えない⇒達成状況５０％以上　④未達成⇒達成状況５０％未満

取組実績	検証・評価	令和５年度の取組の方向性	
・若手起業家による事業創造を目指した滞在型企画（はじまりアパートメント）の実施：10 名参加 ・足助まちづくりビジョンの策定	・はじまりアパートメント事業等により、新規事業を複数立ち上げることができた。 ・足助まちづくりビジョン策定が完了し、今後は本ビジョンをもとに足助地区のまちづくりを推進する。	方向性	完了

※方向性：　①拡大して実施（事業内容・規模の拡大）　②改善して実施（事業内容改善、効率化、効果向上）　③継続実施（同規模実施）　④縮小　⑤完了